事例No.	2090
公表年度	R4
団体の属性	指定都市
団体名	千葉県千葉市

事例区分	DX

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・ICT ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	商業・工業

事例内容・タイトル

市内の中小企業者に対するICT活用生産性向上支援

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

110 市内の中小企業者に対するICT活用生産性向上支援【千葉県千葉市】

事業の概要

○　千葉市の外郭団体である公益財団法人千葉市産業振興財団では、市内の中小企業者が、働き方改革や生産性の向上、さらに企業価値の向上につなげることを目的に、ICT導入等に係る費用の一部を助成しています。

○　本事業は「STEP1：短期達成型」、「STEP２：計画策定型」、「STEP3：転換・変革型」の３つから構成されています。

＜支援メニュー＞

	STEP１（短期達成型）	STEP2（計画策定型）	STEP3（転換・変革型）
事業趣旨	中小企業者の有する業務における課題について、次により、生産性の向上・働き方改革など、企業価値の向上を促進することを目的とする。 クラウドサービスやソフトウェア等を活用することにより、短期的に課題の解決を図る。	専門家によるICT化の計画策定に係る費用の一部を助成することで、中長期的にICTを活用した大規模の業務効率化や事業の転換・変革の円滑な実現を支援する。	ICTを活用した大規模の業務効率化や事業の転換・変革に係る費用を助成することにより、中長期的に課題の解決を図る。
助成率	2/3以内（※STEP1及び3については、一部の経費については1/3以内）		
上限額	500千円	1,500千円	3,000千円
審査方法	書面審査	書面審査 ＋ 申請者によるプレゼンテーション審査	
特記事項	○申請に際して、コーディネーターによるヒアリングを受けること。 ○事業取組み中及び事業終了後に定期的に訪問し、現状確認を実施。	○申請に際して、コーディネーターへの事前相談が必須。また、採択後は、コーディネーターによるハンズオン支援を受けること。 ○本事業の実施から３年後に付加価値額（営業利益 ＋ 人件費 ＋減価償却費）２％以上向上する企業全体の事業計画であること。 ○申請者は、採択審査会（=事業可能性評価委員会）で10分間のプレゼンテーションと質疑応答を経て、採択が決定される。 ○事業取組み中及び事業終了後に定期的に訪問し、現状確認を実施。	○申請に際して、コーディネーターへの事前相談が必須。また、採択後は、コーディネーターによるハンズオン支援を受けること。 ○本事業の実施から３年後に付加価値額（営業利益 ＋ 人件費 ＋減価償却費）５％以上向上する企業全体の事業計画であること。 ○申請者は、採択審査会（=事業可能性評価委員会）で10分間のプレゼンテーションと質疑応答を経て、採択が決定される。 ○事業取組み中及び事業終了後に定期的に訪問し、現状確認を実施。 ○事業の完了後、３年間定期的な報告を行うこと。

【参考情報①】 人口：97.5万人
関連URL：https://www.chibashi-sangyo.or.jp/ict.html

【参考情報②】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/rinjikoufukin/index.html

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



新型コロナウイルス感染症の影響で事業環境が変化したことに伴い、中小企業においてもICTを活用した事業変革の必要に迫られたことから、現行業務のICT化への転換やICTを活用した業務プロセス等の抜本的転換といった変革を促進すべく、事業の実施に至りました。

（千葉市）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



令和2年度に内閣府の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、ICT環境を構築する助成事業を実施し、短期間で達成可能な機器導入の促進を図りましたが、令和３年度は、国や県の支援制度を活用していません。



事業の近況を教えてください。



令和3年度は16件の支援実績がありました。具体的には、溶接治具製作等に係る３DCADシステム導入による製造過程の効率化や、帳票を電子化するためのデータ連携システムの導入による事務作業の効率化など、業務プロセス等の課題解決を支援し、受注件数の増加や生産性の向上を図りました。

★担当：千葉市経済農政局経済部 産業支援課★

令和3年度事業費　22,000千円